

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和7年9月29日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	芝山町 (124095)
地域名 (地域内農業集落名)	小池・芝山 (小池1・小池2・小池3・小池4・小池5・小池6・小池7・小池8・小池9・芝山)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	161.6 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	138.5 ha
② 田の面積	79.0 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	77.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	76.7 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)区域内の農用地等面積には、遊休農地も含まれる。(5.5ha)

(2) 地域農業の現状及び課題

・担い手も65歳以上の農業者が半数以上を占めており、今後は高齢化による離農者の増加が懸念され、後継者もおらず、耕作放棄地となる恐れがある。
・用排水路の老朽化が進んでいるため、整備が必要である。
・木戸川沿いの田の一部で深くなっているところがあり、対策が必要。
・有害鳥獣による被害が増えてきている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・地区内に限らず地区外の農業者とも連携することで、担い手の耕作する農地集約化や担い手となる青年層のつながりをつくるなど農業をやりやすい環境づくりを検討する。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・認定農業者等の地域内の農業を担う方が引き続き集落の農地を担っていくほか、地区外からの多様な担い手を受け入れ、農用地の集積・集約化を推進していく。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	42 %	将来の目標とする集積率	47.3 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
団地化の面積を段階的に増加させ、担い手への集約化を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積・集団化の取組
・認定農業者等の地域内の農業を担う方が引き続き集落の農地を担っていくほか、地区外からの多様な担い手を受入れ、農用地の集積・集約化を推進していく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農業経営の安定と農村環境保全のため、担い手への農地集約化を目指し、農地中間管理機構を活用して集積を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
・農地の大区画化、汎用化、用水のパイプライン化等の基盤整備は検討はしていく。また、必要に応じて農地耕作条件改善事業等を活用し、暗渠排水等の整備も検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地域外からの兼業農業者などの多様な経営体の定着に向けて、就農に関するサポートや生産する農地の紹介等を行政及び関係機関と連携しながら取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ・町と連携し、農地や農道等の保全管理のための取り組みを進めていく。
 - ・高谷川の氾濫対策を含めた圃場の整備を引き続き県や町と検討していく。
 - ・町が有害鳥獣捕獲事業を委託した山武北部獵友会と連携し、有害鳥獣の捕獲を実施するとともに町が支援する電気柵設置を推進し、被害防止に努める。
 - ・慣行農法と有機・減農薬・減肥料農法が共存できるように、地区での話し合い等を通じたルール設定やエリア分けを検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農田地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、

・本件東支的面積に加え、生産用件東の支面積を記載して顶けます。この肯定農作業
経営面積に含めてください。

5: 備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努め

以上が、度数を江戸音にして正真正銘に書く方法です。読み方を記載するので、見てください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	芝山町植物防疫協会	農薬散布	水稻

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。